

- 国領住宅が竣工してから5年程経って、やはり都市計画の変更が必要となる都区部大型S団地の理事会のメンバーの人達がNEXTの作品を見たいと言うので、国領住宅を案内した。当時の国領住宅の理事長が先頭に立って建物の特徴（分棟型、低層棟、高層棟、方位と住戸等）を説明してくれた。この建物は住民全員の建物になった事を改めて実感した。

案内が終わる頃になると、K氏は私の姿に気づいたのか、自らの住戸から私達がいる広場に出てきた。「今日は何なの?」「S団地の人達を案内に来ました。」K氏をS団地の役員のメンバーに紹介すると、K氏は満面の笑みを浮かべ、「建替えてこんなに素晴らしくなった。この人達に任せた方が良いでしょう。」私が、K氏と初めて交わした言葉である。



国領住宅建替計画 メインアプローチ